

愛称：アミーゴ メキシコ債券オープン（資産成長型）

マンスリーレポート

追加型投信／海外／債券

作成基準日：2026年06月30日

ファンド設定日：2013年08月23日

日経新聞掲載名：メキシコ成長

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	23,548	+579
純資産総額（百万円）	6,012	+140

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2026/05/29	2.5
3 カ月	2026/03/31	8.9
6 カ月	2025/12/30	11.4
1 年	2025/06/30	32.1
3 年	2023/06/30	37.4
設定来	2013/08/23	136.5

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第22期	2024/05/22	0
第23期	2024/11/22	0
第24期	2025/05/22	0
第25期	2025/11/25	0
第26期	2026/05/22	0
設定来累計		50

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
債券	98.2	-1.0
先物等	0.0	0.0
現金等	1.8	+1.0
合計	100.0	0.0

運用概況

当月末の基準価額は、23,548円（前月比+579円）となりました。
また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+2.5%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：アミーゴ メキシコ債券オープン（資産成長型）

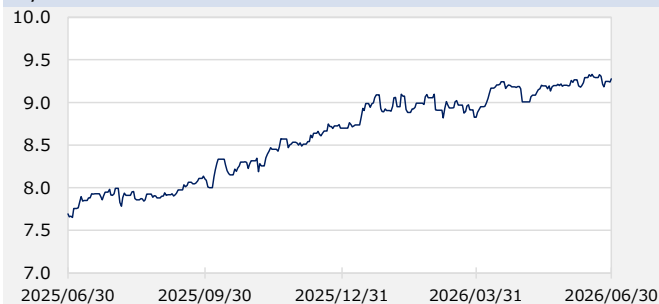
マンスリーレポート

追加型投信／海外／債券

作成基準日：2026年06月30日

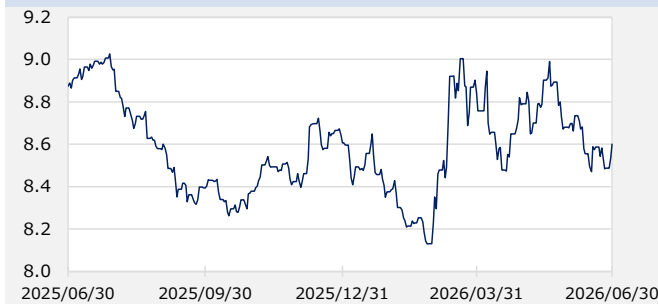
市場動向

円/メキシコペソ（円）



当月末：9.3 前月末：9.2 騰落率：0.8%

FTSE WGBIメキシコ国債 最終利回り（%）



当月末：8.60% 前月末：8.68% 変化幅：-0.08%

- ※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
- ※ 為替レートは一般社団法人資産運用業協会が発表する仲値（TTM）です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：アミーゴ メキシコ債券オープン（資産成長型）

マンスリーレポート

追加型投信／海外／債券

作成基準日：2026年06月30日

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
債券	+413	+163	+250
先物等	0	0	0
為替	+188	-	-
分配金	0	-	-
その他	-22	-	-
合計	+579	+163	+250

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン（％）	7.4	-0.2
残存年数（年）	7.8	-0.5
デュレーション（年）	4.2	-0.3
直接利回り（％）	7.7	-0.3
最終利回り（％）	8.1	-0.3
平均格付け	BB+	BB+

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 格付けは投資債券に対する主要格付機関の格付けに基づいており、ファンドにかかる格付けではありません。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位5通貨（％）

	当月末	前月比
1 メキシコペソ	98.2	-1.0

組入上位5カ国・地域（％）

	当月末	前月比
1 メキシコ	98.2	-1.0

残存構成比率（％）

	当月末	前月比
1年未満	24.8	+8.2
1-3年	17.9	+3.1
3-5年	12.7	-0.6
5-7年	7.8	-6.7
7-10年	6.1	-4.9
10年以上	28.9	-0.2

種別構成比率（％）

	当月末	前月比
国債	98.2	-1.0
州政府債	0.0	0.0
政府機関債	0.0	0.0
国際機関債	0.0	0.0
社債	0.0	0.0
その他	0.0	0.0

格付構成比率（％）

	当月末	前月比
AAA	0.0	0.0
AA	0.0	0.0
A	0.0	0.0
BBB	84.3	+1.3
BB	0.0	0.0
その他	14.0	-2.3

組入上位10銘柄

（組入銘柄数 16）

銘柄	通貨	国・地域	種別	クーポン（％）	償還日	残存年数（年）	格付け	比率（％）
1 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	5.500	2027/03/04	0.7	BBB+	21.2
2 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	7.750	2042/11/13	16.4	BBB+	11.0
3 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	8.500	2029/05/31	2.9	BBB+	6.8
4 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	8.500	2029/03/01	2.7		6.5
5 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	8.500	2038/11/18	12.4	BBB+	6.4
6 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	7.750	2031/05/29	4.9	BBB+	6.4
7 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	8.000	2053/07/31	27.1	BBB+	6.3
8 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	8.500	2030/02/28	3.7	BBB-	6.3
9 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	7.750	2034/11/23	8.4	BBB+	5.5
10 MEX BONOS DESARR FIX RT	メキシコペソ	メキシコ	国債	7.500	2033/05/26	6.9	BBB+	4.9

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

※ このページは「メキシコ債券マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

6月のメキシコ債券市場は上昇し、メキシコペソも対円で上昇しました。

米国とイランの戦闘終結の合意や、メキシコのインフレ鈍化がメキシコ債券市場の上昇要因となりました。為替市場では、中東情勢のリスク後退やメキシコと日本の金利差に着目したキャリー選好の動き、また、米ドル/円が数十年ぶりの高値圏へと進む中での円安進展などがメキシコペソの円に対する上昇要因となりました。

ポートフォリオについては、デュレーション（投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度）を前月末から短期化しました。メキシコ債券利回り低下を受けた投資妙味の後退や、7月1日のUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）見直し期限を控えて、ポートフォリオのリスク抑制を図りました。

6月は、米国とイランの戦闘終結の合意を受けたリスク選好の動きや、原油価格のピークアウトによるインフレ鈍化期待がメキシコ債券市場を支えた一方、月後半はFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ観測の高まりという外部要因が新興国市場を不安定化する展開となりました。今後は、FRBの利上げ観測に伴う米金利上昇や米ドル高が新興国市場の下落リスクとして警戒され、米金利や米ドルの方向性を慎重に見極める必要があると考えています。USMCAをめぐるっては、米国が現行協定の16年延長を正式に拒否し、毎年見直しを行うことが決定され、今後の貿易環境をめぐる不透明感の高まりに注意する必要があると考えています。ただし、米国とメキシコの貿易関係は米国にとっても極めて重要であるため、抜本的な変更は見込んでいないと想定し、金利水準の高いメキシコ債券やメキシコペソは中長期的には底堅く推移すると考えています。以上の見通しのもと、ポジション運営は機動的に実施していく方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

ファンドの特色

- メキシコペソ建ての債券を主要投資対象とし、利息収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
 - 運用はメキシコ債券マザーファンドを投資対象とするファミリーファンド方式で行います。
 - 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - メキシコペソ建て以外のメキシコの債券に投資する場合があります。その場合は、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。
- メキシコの国債・政府機関債および国際機関債を中心に投資します。
- 毎決算時に、分配金額を決定します。
 - 決算日は毎年5月、11月の22日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。



投資リスク

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】
有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

2032年5月24日まで（2013年8月23日設定）

決算日

毎年5月、11月の22日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- メキシコの銀行の休業日
- ロンドンの銀行の休業日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.364%（税抜き1.24%）**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ：https://www.smd-am.co.jp コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

愛称：アミーゴ メキシコ債券オープン（資産成長型）

マンスリーレポート

追加型投信／海外／債券

作成基準日：2026年06月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	日本S T O協会	備考
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第15号	○		○	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社S B I証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号	○					
寿証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第7号	○					
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第37号	○					
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○	○	
立花証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第110号	○			○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○					
日産証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第131号	○	○		○		
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号	○					
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	○	
三木証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第172号	○					
三菱U F J eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	○	
三菱U F Jモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○	
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第199号	○					
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第43号	○			○		
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○					※1
株式会社S B I新生銀行（S B I証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※2 ※3
株式会社S B I新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※2 ※1
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第7号	○			○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号	○					
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第56号	○					※2
株式会社清水銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第6号	○					※4
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号	○					
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第578号	○	○		○	○	
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第14号	○					※4
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第57号	○					※4

備考欄について

※1：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※2：ネット専用※3：委託金融商品取引業者 株式会社S B I証券※4：新規の募集はお取り扱いしておりません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



販売会社

販売会社名	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	資産運用業協会	一般社団法人金物取引業協会	日本S T O 協会	備考
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○			○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○			○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○		
岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第30号	○					

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見直しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。